

記入日 2021 年 12 月 6 日

一般社団法人日本薬学生連盟 2022 年度本部立候補申請書

| | |
|---------------|--|
| 立候補者氏名 | 岸 怜央 |
| 立候補する役職 | 会長 |
| 大学/学部/学科 | 東京薬科大学薬学部医療衛生薬学科 4年 |
| 学年 | 4年 |
| 所属 | 副会長、財務、国際渉外、交換留学、学術薬学教育 |
| 日本薬学生連盟での活動経歴 | <p>2018 年度 学術委員会、国際渉外部 所属 関東 FREEM 長 IPSF APRO Editorial and translation Subcommittee 所属</p> <p>2019 年度 学術委員会、国際渉外部、PR 委員会、外務部、財務部、交換留学委員会 所属 IPSF APRO Editorial and translation Subcommittee 所属 APPS2019 in Bandung 参加 年会部会長</p> <p>2020 年度 学術委員長、国際渉外部、外務部、財務部、交換留学委員会、会計部 所属 IPSF APRO LiT 参加 IPSF APPS2022 部会長</p> <p>2021 年度 副会長、財務部、国際渉外部、交換留学委員会、学術薬学教育委員会 所属</p> |
| 立候補動機 | <p>私が立候補した動機は2つあります。</p> <p>1つ目は、日本薬学生連盟のスタッフならびに本部として活動してきた経験をもとに団体の運営を見つめ直し、アフターコロナに向け団体を盛り上げていきたいと思ったためです。</p> <p>2つ目は、今年度副会長というポジションではできなかった「チーム全体を動かす」という経験を通じ、全体を動かす大変さ、迅速な決断力等を養うことで、自分自身を成長させたいと思ったためです。</p> |
| 問題点と改善案 | <p>・物事の決定 今年度の運営の中で、何かを決める際は本部全体で決定をしていました。しかしながら、そのやり方により動き出しに時間がかかり、多数決によりほぼ同数でも上回った際にはその意見に決定せざるを得ませんでした。来年度は全体の意見を受け入れつつ会長・副会長・その他当事者間で総合的に判断した上で実行していくことで全体からの意見を反映させつつ、当事者にしかわからないことも加味できるためより良い決定ができると思います。</p> <p>・方向性の提示 今年度の1年間、「殻を破れ！」というテーマで活動してきました。しかしながら、会長が唱えるテーマの解釈と、他の役職やスタッフが捉える解釈が異なっているのではないかと思います。そのため、強い方向性を持って本部内外問わず、一致団結して日本薬学生連盟という組織でさらなる高みを目指して活動することが求められているのではないかと思います。</p> <p>・タスクの分担 本部内で活動する上で、誰が何をするのが明確になっていないと上手く組織として機能しないと思います。今年度はその点に関して結局誰がやるのが明確になっていないために動き出しが遅くなってしまうケースがありました。話し合いをしたのであればその話し合いの最後に、文面でのやり取りであれば最後の確認をするようにします。</p> <p>・環境づくり 私が今年度副会長として意識していたにもかかわらずできなかったことです。雰囲気によって本部の活動のしやすさは大きく変わってくると思います。本部内でどのような雰囲気であれば活動しやすいのか来年度が始める1ヶ月前までに意見を聞き、私だけでなく本部全員がその理想とする雰囲気の実現に向けて取り組んでいけたらと思います。</p> |
| 活動計画 | <p>【新年度始まるまで】 22年度の方向性を確認</p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p>運営に必要な知識・ルールの確認 年間の予定を共有する 前任から引き継ぎを受けているか確認</p> <p>【通年】 本部 MTG 役員 MTG 各部署の対応 トラブル時の対応 重要書類の作成</p> <p>【前期】 新歓のサポート 他団体のイベント参加 リーダーシップ講座</p> <p>【後期】 引き継ぎ 年会に向けて</p> |
| <p>所信</p> | <p>4 年間、日本薬学生連盟のスタッフ会員として、特に後半の 2 年間に関しては本部での活動をさせていただき、たくさんの経験をさせていただきました。</p> <p>私が活動する中で思う日本薬学生連盟の良さは、みんな自分の意見や面白いアイデアを持っているところだと思います。 しかし、実際には表に出せていない意見もたくさんあるのではないかと思います。 それは、私自身が過去になかなか自分の意見を言うことができず、アイデアはあるけどそれを形にすることができなかったことがあるからです。 自分をさらけ出すことができる環境においては皆で意見を言い合うことができ、活発な議論ができると思います。 それは、本部内だけでなく各部署でも同じです。 活発な議論ができると面白い企画や薬学生がワクワクするような企画の立案に繋がり、全体として団体の活性化に繋がると思います。 そのために、会長として本部内で皆が仲良く、学年問わず意見を言いやすい環境の実現に向け、全力を尽くします。</p> <p>また、私事ではありますが、来年度は5年生となり薬局・病院実習との両立、更には自身の研究室との両立が求められます。 したがって、本部メンバーに対して迷惑をおかけすることが多々あると思います。 その分全力で各部署に向き合い、ともに盛り上げていきたいと思っています。</p> <p>最後に、22年度本部の任期が終わる時に、「この本部のメンバーで良かった！」とってもらえるように、一生懸命に会長の役職を全うしたいと思います。</p> |